

一般社団法人地理情報システム学会第 20 回理事会 議事録

開催日時：平成 24 年 1 月 13 日 13 時～16 時

開催場所：東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学本郷キャンパス 工学部 14 号館 802 教室

出席者： 理事： 吉川（会長），浅見（副会長），太田，柴崎，玉川，正木，寺木（事務局長，記録）

監事： 大佛，長島

配付資料： 20120113_第 20 回理事会資料，追加資料

議事

1. 開会

- ・ 吉川会長から 13 時に新年の挨拶とともに開会が宣された。
- ・ 定足数に達しており，理事会の成立が確認された。

2. 報告事項

報告 1 職務執行状況について

正木広報担当理事から配付資料に基づき報告があった。主な補足事項は以下の通りである。

- GIS Next の 4 月および 7 月は支部および分科会に関する記事であり，小荒井理事が調整する予定である。
- Facebook の利用について今後検討を行う。

浅見財務担当理事から配付資料に基づき報告があった。

玉川大会・編集担当理事から追加資料に基づき報告があった。主な補足事項は以下の通りである。

- 編集作業を担当するアルバイトが学会員になった。査読状況などを知るようになるため，雇用を打ち切った。当面，学会事務局で業務を引き継ぐ。

報告に対して以下のような意見交換があった。

- 投稿論文の査読について進捗状況を報告した方が良いのではないか。
- 査読は若干遅れ気味であり，長期間かかっているものがある。
- 昨年の投稿論文については，投稿数が 30 編程度，採択が 15 編程度であり，一昨年と変わっていない。
- 査読の体制を見直し，自動的に進行するようにすべきではないか。
- 投稿者が進捗状況を知ることができるようにすべきではないか。

討議の結果，以下のことが決定した。

- 編集委員会で査読体制について検討し，次期編集委員会に引き継ぐ。

柴崎企画担当理事から追加資料に基づき報告があった。また東日本大震災に関するシンポジウム開催の提案があり，審議事項 3 で検討することになった。討議の結果，以下のことが決定した。

- 科学未来館で 1 月 31 日に開催される「空間情報科学のソーシャルインターフェイス」に共催または後

援で協力する。

なお理事会終了後に柴崎理事が科学未来館と調整した結果、共催で協力することになった。

太田資格担当理事から追加資料に基づき報告があった。主な補足項目は以下の通りである。

- 既に期限が切れて、再申請が行われている人数は7人である。

報告に対して以下のような指摘があった。

- 上級資格者中の学会員は3割程度である。
- 新規取得者はほとんど会員ではなく、交付時に「必ず入会するように」と強く勧誘しても入会しない。
- 資格認定の対象を学会員に制限することで、資格の価値が下がるのではないか。
- 資格交付時に自動的に入会するようにしてはどうか。
- 非会員に対しては、サービスとして対価を請求する形を取ったらどうか。

討議の結果、以下のことが決定した。

- 認定規程の改正は原案通り承認する。
- 今後の対応についてGISCAで検討する。

分科会・支部について追加資料により報告があった（代読：寺木事務局長）。討議の結果、以下のことが決定した。

- 来年度予算の検討に関する日程は、昨年度を同じ日付で事務局がスケジュール案を作成し、理事会メンバーリストで連絡する。

報告2 10-12月の入退会会員について

配付資料により報告された。

3. 審議事項

第1号議案 会員規約について

第2号議案 経理規定について

上記2議案について寺木事務局長および浅見財務担当理事から配付資料により説明があった。討議の結果、原案通り決定した。

第3号議案 G空間 EXPO について

寺木事務局長から配付資料により説明があった。以下のような意見交換があった。

- 出展はシンポジウムと同じ内容にしない方が良い。
- 出展の場所はシンポジウム会場に近い。
- 会員勧誘に効果があるものがよい。
- GISCAの展示はどうか。
- 視覚に訴えるものがよい。
- 関心を持ってくれる、敷居を下げる、身近に感じてもらう展示を考えるべきである。

- アカデミック小間であり，出展場所から見て，学生が多いはずである．就職に関するものはどうか．
- 「10年後の空間情報社会」というようなテーマはどうか．

討議の結果，以下のことが決定した．

- シンポジウムは企画委員会提案のテーマで開催する．
- 出展内容について企画委員会と広報委員会で検討する．

第4号議案 2013年京都国際地理学会議のセッション募集について

寺木事務局長から配付資料により説明があった．以下のような意見交換があった．

- セッションのトピックを決める，論文を募集して優秀論文を発表する，国際的に活躍している先生を記念する講演会を開く，などのやり方がある．
- キーワードとして以下のようなものが考えられる．
空間情報，Spatial Thinking，Information Bank，Mobile，位置情報とプライバシー（あるいはPrivate Information），準天頂衛星，この分野における地政学的话题（中国の台頭など），GIS分野で解決すべき問題．
- Geomedia サミット関係者の協力を得てはどうか．
- まだ時間があるので，企画のコンペを開いても良いのではないか．

討議の結果，以下のことが決定した．

- 浅見理事がIGUのSteering Committeeメンバーでもあるので，本件の窓口である矢野氏と調整する．

第5号議案 九州支部長交代について

事務局から，山崎九州支部長から三谷氏に交代する意向が伝えられたこと，が報告された．関連して吉川会長から，阿部東北支部長から交代の打診があったこと，が報告された．討議の結果，以下のことが決定した．

- 九州支部の支部長交代は，支部の意向を承認し，吉川会長から辞令を交付する．
- 東北支部については支部内での検討を促す．

4. その他

浅見理事より，小口渉外委員長から「海外の学会との交流について見直すべきである」という提案があったことが報告された．主な内容は以下の通りである．

- 現在，海外の学会とは韓国のKAGISとの交流が中心である．しかし韓国にはKAGIS以外にKISIS，KOGSISの2つの学会がある．
- 今年度のKAGISの大会に招待された際には，台湾など日本以外の国からも招待されていた．
- 国際セッション，あるいは，東アジアの他の国を含める形で韓国以外に交流を広げるべきではないか．

以下のような指摘があった．

- 複数の学会があることについては韓国固有の状況がある．現状把握が必要である．
討議の結果，以下のことが決定した．
- 柴崎理事の知人を通じて韓国の現状に関する情報を収集する．

第 21 回理事会について以下の通り決定した．

- 日時：3 月 30 日（金）13 時開始
- 場所：東京大学工学部 14 号館 802 教室

5．閉会

・吉川会長から 16 時に閉会が宣された．以上の決議を明確にするため，事務局長寺木彰浩が本議事録を作成し，議長及び出席理事を代表して理事浅見泰司が書名捺印する．

出席理事

理事 吉川 眞
理事 浅見 泰司
理事 太田 守重
理事 柴崎 亮介
理事 玉川 英則
理事 正木 千陽
理事 寺木 彰浩
監事 大佛 俊泰
監事 長島 雅則

平成 24 年 1 月 16 日

一般社団法人地理情報システム学会

議 長 吉川 眞

理 事 寺木 彰浩

以上

作成： 2012 年 1 月 14 日（寺木）
修正： 2012 年 1 月 14 日（浅見）
修正： 2012 年 1 月 16 日（事務局・太田・柴崎）